

ポイント

これまでの成果と整備効果

○下水道の普及に向けて着実に推進

- ・下水道処理人口普及率: 71.7% (前年比1.2%増)
- ・下水道整備人口: 約9,111万人 (前年比160万人増)

下水道処理人口普及率: 「総人口に対する下水道を利用できる人口の割合」

○下水道の普及による公共用水域の水質保全

- ・下水道の普及とともに河川の水質も向上
(例) 宮城県阿武隈川流域の普及率49%(H6) → 74%(H19)
BOD: 3.6mg/l(H6) → 1.7mg/l(H19)

BOD: 河川の水質を示す指標。一般的に数値が小さいほど水質がよい。

これからの課題

○未整備人口・地域間格差等を今後早急に解消すべき

- ・人口5万人未満の都市の下水道処理人口普及率: 42.7%
- ・普及率が50%を下回る都道府県: 14県

→地域条件に適した効率的な下水道整備を推進
「下水道未普及解消クイックプロジェクト」